

人物書誌索引

2015-2021

有木太一・中西裕 共編

総目次

凡例	(5)
この本の使い方	(8)
人名目次	(11)

人物書誌索引 2015-2021

日本人	1
東洋人	297
西洋人	317
原綴索引	417

凡例

1. 編集概要

- (1) 『人物書誌索引』(深井人詩編・1966～1977年収録)、『同 78/91』(深井人詩・渡辺美好共編・1978～1991年収録)、『同 1992-2000』(深井人詩編・1992～2000年収録)、『同 2001-2007』(中西裕編・2001～2007年収録)、『同 2008-2014』(中西裕編・2008～2014年収録)のあとに続く、2015～2021年に発表された主に個人書誌を収録する。
- (2) 『書誌年鑑』2016～2022に収められた個人書誌を累積し、全体を三編に改編した。

2. 収録点数

個人書誌8,805人分、12,509点を収録した。(参照人名207件を含む)。

3. 構成

- (1) 人名目次
日本人・東洋人・西洋人に分け、人名項目の五十音順。
- (2) 本文
日本人・東洋人・西洋人に分け、人名項目の五十音順。
- (3) 原綴索引
混合配列。ABC順。

4. 人名区分

- (1) 日本人 外国籍の日本人、日本国籍を持つ外国人を含む。
- (2) 東洋人 中東以東の人々。
- (3) 西洋人 日本人・東洋人以外の人々。

5. 見出項目

- (1) 見出項目の人名表記は、一般的なものを採用した。
- (2) 個人名のほか、「北条氏」「ビートルズ」等の家名やグループ名を含む。
- (3) 日本人名の読みは、現代仮名遣いで表記した。
- (4) 韓国・朝鮮人名の読みは、可能な限り原音読みを採用し、必要に応じて日本語読みから参照を入れた。
- (5) 西洋人名の片仮名表記には異なるものが多いので、見あたらない場合は、附録の「原綴索引」を参照されたい。
- (6) 漢字は、原則として常用漢字を使用した。

6. 参照人名

次のような場合は、筆名・雅号を参照人名として、見出項目へ案内した。

(例) 釈 迢空 しゃく・ちょうくう
→折口 信夫 (おりくち・しのぶ) を見よ

- (1) 収録文献に見出し人名項目とは異なる筆名・雅号・通称などが記載してある場合、その名称。
- (2) 各種事典や人名録の見出しまたは参照見出し・索引などに表示された名称が、本書の見出し人名と異なる場合、その名称。

7. 見出項目の配列

姓と名の読みをそれぞれ一単位として、姓の読みの五十音順に配列、同じ姓が続くときは、名の読みの五十音順に配列した。

ぢ→じ、づ→ず、として配列した。

8. 記述形式

(1) 見出項目

- 1) 人名が漢字表記の場合は、その読みを平仮名(東洋人は片仮名)で、片仮名表記の場合は、原綴を記載した。必要に応じて、筆名・雅号・通称などを付記した。
- 2) 生没年は、西暦で記した。
- 3) 東洋人・西洋人は、国籍または居住国名等をできる限り記した。漢字国名が知られている国については、凡例の11.「国籍略字表」により、略字で示した。
- 4) 職業名または専門分野を簡単に記した。

(2) 書誌事項

- 1) 図書と雑誌とがはっきり区別できるように、下記の記号を各文献記述の冒頭に付した。

図書→◎ 雑誌→○

2) 記述順序

① 図書単行書誌(図書一冊)

◎『書名 副書名』(著編者名) 出版者 発行年月 頁数 判型

② 図書収録書誌(図書の一部)

◎書誌表示(編者名) 『書名 副書名』(著編者名) 出版者(叢書名) 発行年月 掲載頁

③ 雑誌掲載書誌(雑誌記事)

○書誌表示(編者名) 「誌名 巻号」(出版者) 発行年月 掲載頁

※書誌表示は、業績・年譜・著書目録・著作目録・参考文献・文献目録等と記載した。

3) 頁記述

p:page f:front b:back r:random

pf:前付部分に書誌があって、頁付がない場合。

pb:後付部分に書誌があって、頁付がない場合。

p1-3f:前付部分に書誌があって、頁付がある場合。

p1-3b:後付部分に書誌があって、頁付がある場合。

prr:各章節末に書誌がある場合。

p78」は第78頁1頁のみのもの。

4) 判型(A判、B判以外のもの)

46s:四六判

9. 書誌配列

(1) 見出し人名項目のもとに、該当人物の関係書誌を配列した。

(2) 同一人物に複数の書誌がある場合は、図書と雑誌を混配して、発表年月順に配列した。

10. 原綴索引

(1) ABC順に配列した。

(2) 原綴のあとに、見出し人名項目を示した。指示先の《日》は日本人、《東》は東洋人の頁に収録されていることを示す。記載のない場合は西洋人の頁に収録されている。

11. 国籍略字表

アメリカ	米	オランダ	蘭	中国	中
イギリス	英	カナダ	加	ドイツ	独
イタリア	伊	ギリシア	希	フランス	仏
インド	印	スペイン	西	ロシアまたは	
オーストラリア	豪	大韓民国	韓	ソビエト連邦	露
オーストリア	奥	台湾	台		

人名目次

日本人

【あ】

愛敬 浩一……………3	赤瀬川 原平……………4	浅井 庸夫……………7	我妻 和男……………9
鮎京 正訓……………3	赤塚 不二夫……………4	浅井 花子……………7	東 秀紀……………9
会沢 正志斎……………3	赤野 一郎……………4	浅井 良夫……………7	我妻 幸長……………9
相沢 直樹……………3	赤羽 研三……………4	浅井氏……………7	安曇氏……………9
会津 八一……………3	赤羽 末吉……………4	浅岡 邦雄……………7	安藤 幹夫……………9
相田 慎一……………3	赤羽 良一……………5	朝河 貫一……………7	麻生 太吉……………9
間 ふさ子……………3	赤羽 新太郎……………5	浅木 慎一……………7	阿蘇氏……………10
相原 隆……………3	赤羽 萬次郎……………5	朝倉 喬司……………7	安高 団兵衛……………10
魏光……………3	赤平 和順……………5	朝倉 敏夫……………7	足立 明……………10
葵生川 玲……………3	赤星 鉄馬……………5	朝倉 治彦……………7	安達 征一郎……………10
青木 重幸……………3	赤間 道夫……………5	浅倉 むつ子……………7	足立 辰雄……………10
青木 繁……………3	赤松 啓介……………5	浅古 弘……………7	安達 文夫……………10
青木 淳……………3	赤松 小三郎……………5	朝治 啓三……………7	足立 文彦……………10
青木 真美……………3	赤松 徹真……………5	浅田 和茂……………8	安達 三季生……………10
青木 木米……………3	赤松 秀岳……………5	浅田 孝幸……………8	安達 峰一郎……………10
青木 康……………3	赤松 良子……………5	阿佐田 哲也 ⇒色川 武大	渥美 東洋……………10
青木 豊……………3	赤松氏……………5	麻田 浩……………8	厚母 浩……………10
青島 秀樹……………3	赤嶺 政信……………5	浅田 正彦……………8	跡見 花蹊……………10
青地 正史……………3	赤嶺 守……………5	浅田 正博……………8	乾風 登……………10
青野 覚……………3	秋草 俊……………5	浅沼 圭司……………8	穴田 義孝……………10
青野 繁治……………3	秋里 籬島……………5	浅野 明……………8	姉崎 洋一……………10
青野 太潮……………3	秋田 実……………5	浅野 清……………8	阿波連 正一……………10
青柳 篤恒……………3	秋永 一枝……………5	浅野 直人……………8	安孫子 誠也……………10
青山 和司……………3	秋葉 侃……………5	浅野 孟府……………8	阿部 明子……………10
青山 光二……………3	秋葉 裕一……………5	浅葉 仁三郎……………8	安部 悦生……………10
青山 公三……………4	秋間 康夫……………5	浅原 達郎……………8	安部 公房……………10
青山 二郎……………4	秋元 明……………5	朝日 吉太郎……………8	阿部 茂行……………10
青山 忠正……………4	秋元 浩一……………5	朝日 重章……………8	阿部 珠理……………10
青山 千彰……………4	秋元 貞雄……………5	旭 太郎 ⇒小熊 秀雄	阿部 次郎……………10
青山 七恵……………4	秋元 千恵子……………5	朝吹 亮二……………8	安倍 晋三……………10
青山 英幸……………4	榎本 洋哉……………6	朝元 照雄……………8	阿部 青鞋……………10
青山 南……………4	秋元 松代……………6	浅利 一郎……………8	阿部 猛……………10
青山 義孝……………4	秋元 康……………6	浅利 慶太……………8	阿部 誠……………11
阿河 雄二郎……………4	秋谷 紀男……………6	足利 成氏……………8	阿部 正直……………11
赤井 正二……………4	秋山 和慶……………6	足利 尊氏……………8	阿部 泰隆……………11
赤江 瀑……………4	秋山 薊二……………6	足利 直義……………8	阿部 泰郎……………11
赤尾 敏……………4	秋山 虔……………6	足利 義昭……………8	阿部 律子……………11
赤木 完爾……………4	秋山 憲治……………6	足利 義種……………8	安倍家(長門市)……………11
赤城 さかえ……………4	秋山 駿……………6	足利 義輝……………9	安部家(深谷市)……………11
赤坂 正秀……………4	秋山 信三郎 ⇒秋山 好古	足利 義教……………9	阿倍 仲麻呂……………11
赤崎 真弓……………4	秋山 高志……………6	足利 義晴……………9	安保 公人……………11
明石 海人……………4	秋山 洋子……………6	足利 義政……………9	甘粕 正彦……………11
明石 照久……………4	秋山 義継……………6	足利 義満……………9	天川 晃……………11
明石 喜彬……………4	秋山 好古……………6	足利 義持……………9	天草 四郎……………11
赤瀬 知子……………4	秋吉 一郎……………6	足利氏……………9	天児 慧……………11
赤瀬 美穂……………4	阿久 悠……………6	鯉坂 学……………9	尼子 騒兵衛……………11
	阿久沢 利明……………6	芦田 恵之助……………9	天田 六郎……………11
	芥川 龍之介……………6	芦田 誠……………9	天野 英……………11
	明智 光秀……………6	蘆名氏(福島県)……………9	天野 知恵子……………11
	明智氏……………7	芦原 英幸……………9	天野 貞祐……………11
	明峯 哲夫……………7	芦部 信喜……………9	天野 桃隣……………11
	浅井 和春……………7	飛鳥 高……………9	天野 有……………11
	浅井 忠……………7	東 明彦……………9	余部 福三……………11

有木氏 ありきし

- ◎参考文献 『有木物語』(次重寛禧) 吉備人出版 2018.7 p338-341

有島 武郎 ありしま・たけお〔1878—1923 小説家・評論家〕

- ◎年譜ほか 『有島武郎 新装』(高原二郎) 清水書院 2018.4 p196-202
- ◎参考文献一覧 『有島武郎をめぐる物語—ヨーロッパに架けた虹』(杉淵洋一) 青弓社 2020.3 p297-304
- ◎参考文献 『有島武郎—地人論の最果てへ』(荒木優太) 岩波書店 2020.9 p251-268

有末 賢 ありすえ・けん〔1953— 都市社会学〕

- 著作目録一覧ほか 「慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要—社会学・心理学・教育学—人間と社会の探究 81」(慶應義塾大) 2016 p119-126
- 業績ほか 「法学研究 90.1」(慶應義塾大) 2017.1 p455-469

有馬 朗人 ありま・あきと〔1930—2020 物理学・俳人〕

- ◎著作 『わが道、わが信条—有馬朗人の贈ることば』(有馬朗人) 春秋社 2016.12 p4-5b
- 年譜 「俳句 70.3」(角川文化振興財団) 2021.2 p125-131

有馬 広実 ありま・ひろみ〔教育学〕

- 著書論文ほか 「拓殖大学論集 人文・自然・人間科学研究 37」(拓殖大) 2017.3 p162-165

有光 金兵衛 ありみつ・きんべえ

- ◎著作目録 『近代警察史関係文獻目録抄—川路大警視検討を中心に』 警察政策学会 2019.10 p129-137

有元 利夫 ありもと・としお〔1946—1985 洋画家〕

- ◎略歴 『僕には歌があるはずだ—有元利夫』(有元利夫) 青幻舎 2016.5 p137-139

有吉 佐和子 ありよし・さわこ〔1931—1984 小説家・劇作家〕

- ◎略年譜ほか(宮内淳子) 『「新編」日本女性文学全集 9』(竹内栄美子) 六花出版 2019.6 p463-466
- ◎参考文献 『有吉佐和子論—小説『紀ノ川』の謎』(半田美永) 鳥影社 2021.5 p215-218

有賀 喜左衛門 あるが・きざえもん〔1897—1979 社会学・民俗学〕

- ◎引用参考文献ほか 『有賀喜左衛門—社会関係における日本の性格』(熊谷苑子) 東信堂 2021.12 p151-159,163

泡坂 妻夫 あわさか・つまお〔1933—2009 推理小説家・紋章上絵師〕

- ◎著作リスト(新保博久) 『泡坂妻夫引退公演—手妻篇』(泡坂妻夫) 東京創元社 2019.4 p1-20b

淡島 雅吉 あわしま・まささち〔1913—1979 ガラス工芸家〕

- ◎参考文献 『淡島雅吉—近代ガラスデザインの先駆者』町田市立博物館 c2019 p118-119

粟津 潔 あわず・きよし〔1929—2009 グラフィックデザイナー〕

- ◎文献目録ほか 『粟津潔と建築』 金沢21世紀美術館 2017.3 p26-30
- ◎年譜 『粟津潔デザインになにができるか』(粟津潔ほか) 現代企画室 2020.3 p248-255

阿波野 青畝 あわの・せいほ〔1899—1992 俳人〕

- ◎参考文献 『阿波野青畝への旅』(川島由紀子) 創風社出版 2019.10 p225-228

安 克昌 あん・かつまさ〔1960—2000 精神医学〕

- ◎著作一覧 『心の傷を癒すということ—大災害と心のケア 新增補』(安克昌) 作品社 2020.1 p485-483
- ◎引用参考文献 『精神科医・安克昌さんが遺したもの—大震災、心の傷、家族との最後の日々』(河村直哉) 作品社 2020.1 p231-232

安 芙梅 あん・ふばい

- ⇒岸 富美子(きし・ふみこ)を見よ

安斎 庫治 あんざい・くらじ〔1905—1993 社会主義運動家〕

- ◎参考資料ほか 『日本と中国のあいだで—安斎庫治聞き書き』(竹中憲一) 皓星社 2018.1 p214-222

安西 敏三 あんざい・としみつ〔政治思想史〕

- 年譜ほか 「甲南法学 57.3・4」(甲南大) 2017.3 21pb

安西 直一 あんざい・なおいち〔1872—1953 実業家・政治家〕

- ◎参考文献 『房総のカジメとアワビで成った新財閥 森家と安西家』(大場俊雄) 榊書房出版 2017.10 p148-150

安西 水丸 あんざい・みずまる〔1942—2014 イラストレーター・エッセイスト・作家〕

- ◎年譜ほか 『イラストレーター安西水丸』(安西水丸) クレヴィス 2016.6 p230-235

安達 五男 あんだち・いつお〔部落史〕

- 共編著書ほか 『ひょうご部落解放 165・166』(ひょうご部落解放・人権研究所) 2017.9 p105-109

安藤 明之 あんどう・あきゆき〔1944— 計算機算術〕

- 著作目録ほか 「コミュニケーション科学 41」(東京経済大) 2015.3 p5-16

安藤 潔 あんどう・きよし〔英文学〕

- 業績 「関東学院大学人文学会紀要 145」(関東学院大) 2021.12 p22-31

安藤 更生 あんどう・こうせい〔1900—1970 美術史家〕

- ◎著作目録(萩谷みどり) 『會津八一と安藤更生—學藝の継承—安藤更生コレクション受贈記念』(徳泉さち) 早稲田大 2016.11 p69-73

安藤 隆穂 あんどう・たかほ〔1949— 社会思想史〕

- 著作目録 「経済科学 62.4」(名古屋大) 2015.3

p131-134

安藤 忠雄 あんどう・ただお〔1941— 建築家〕

- ◎年譜 『安藤忠雄の奇跡 50の建築×50の証言』(日経アーキテクチュア) 日経BP社 2017.11 p338-345

安藤 忠 あんどう・ただし〔教育学〕

- 略歴 「桜文論叢 89」(日本大) 2015.3 p1-2f

安藤 信広 あんどう・のぶひろ〔文学〕

- 業績目録 「日本文学 113」(東京女子大) 2017.3 p17-25

安藤 昇 あんどう・のぼる〔1926—2015 俳優・映画プロデューサー・作家〕

- ◎全著書リスト 『安藤昇90歳の遺言 続』(向谷匡史) 徳間書店 2016.11 p237-254

安藤 英義 あんどう・ひでよし〔1943— 会計学〕

- 業績 「専修商学論集 110」(専修大) 2020.1 p181-190

安藤 文四郎 あんどう・ぶんしろう〔社会学〕

- 略歴ほか 「関西学院大学社会学部紀要 123」(関西学院大) 2016.3 p1-2

安藤 正人 あんどう・まさひと〔1951— 記録史料学・日本近世史〕

- 業績一覧 「学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報 7」(学習院大) 2018.2 p24-31

安藤 元雄 あんどう・もとお〔1934— 詩人・仏文学〕

- ◎書誌ほか 『安藤元雄詩集集成』(安藤元雄) 水声社 2019.1 p561-582

安藤 百福 あんどう・ももふく〔1910—2007 実業家〕

- ◎参考文献ほか 『安藤百福—即席めんて食に革命をもたらした発明家』(筑摩書房編集部) 筑摩書房 2015.1 p179-181

安藤 礼二 あんどう・れいじ〔1967— 文芸評論家〕

- ◎年譜ほか(安藤礼二) 『光の曼陀羅—日本文学論』(安藤礼二) 講談社 2016.4 p680-687

安然 あんねん〔841—915 僧侶(天台宗)〕

- ◎参考文献 『草木成仏の思想—安然と日本人の自然観』(末木文美士) サンガ 2015.3 p260-261

安野 光雅 あんの・みつまさ〔1926—2020 画家・絵本作家〕

- 年譜(安野光雅) 「別冊太陽 日本のこころ 237 安野光雅の本」(平凡社) 2016.3 p176-191
- ◎略歴 『安野光雅—自分の眼で見て、考える』(安野光雅) 平凡社 2019.2 2pb
- 書誌年表(廣石修) 『ユリイカ 53.7=775』(青土社) 2021.7 p377-385
- ◎年譜 『絵の旅人—安野光雅』(伊藤元雄) ブックグロブ社 2021.12 p196-214

安野 モヨコ あんの・もよこ〔1971— 漫画家〕

- ◎全漫画リスト 『ANNORMAL』(安野モヨコ) 小学館

2020.5 p298-303

庵原 高子 あんばら・たかこ〔1934— 小説家〕

- ◎自筆年譜 『降誕祭の手紙/地上の草—庵原高子自選作品集』(庵原高子) 田畑書店 2018.1 p506-515

安蒜 政雄 あんびる・まさお〔1946— 考古学〕

- ◎著書ほか 『旧石器時代の知恵と技術の考古学—安蒜政雄先生古希記念論文集』(論文集刊行委員会) 雄山閣 2017.3 p3-35

【い】

李 良枝 い・やんじ〔1955—1992 小説家・韓国舞踊家〕

- ◎略年譜ほか(渡辺千恵子) 『「新編」日本女性文学全集 11』(岩淵宏子) 六花出版 2019.12 p540-542

井伊 直虎 いい・なおとら〔不詳—1582 武将〕

- ◎文献 『女城主直虎と徳川家康』(三池純正) 潮出版社 2016.11 p188-189
- ◎参考文献一覧 『井伊直虎と戦国の女100人』(川口素生) PHP研究所 2017.1 p319-322
- ◎参考文献 『井伊直虎の真実』(黒田基樹) KADOKAWA 2017.5 p209-211

井伊 直政 いい・なおまさ〔1561—1602 武将〕

- ◎参考文献 『中世武士選書 39 井伊直政—家康筆頭家臣への軌跡』(野田浩子) 戎光祥出版 2017.10 p223-229

井 洋二郎 いい・ようじろう〔経営学〕

- 業績 「人文科学論集 64」(明治大) 2018.3 p7-8f

飯沢 文夫 いいざわ・ふみお〔1949— 図書館員・地方史〕

- ◎著作リストほか 『飯澤文夫書誌選集』(飯澤文夫) 金沢文圃閣 2015 p3-16
- ◎略年譜 『飯澤文夫書誌選集 2 明治大学校歌、本の街・神保町、地方史文獻調査』(飯澤文夫) 金沢文圃閣 2016 p5-6

井伊氏 いいし

- ◎参考文献 『井伊氏サバイバル五〇〇年』(大石泰史) 星海社 2016.10 p280-285
- ◎参考文献 『女直虎が救った井伊家』(楠戸義昭) ベストセラーズ 2016.11 p244-247

飯島 周 いいじま・いたる〔1930—2020 言語学・スラブ学〕

- 業績一覧 「スラヴ学論集 24」(日本スラヴ学研究会) 2021.5 p41-44

飯島 喜美 いいじま・きみ〔1911—1935 労働運動家〕

- ◎引用参考文献 『飯島喜美の不屈の青春—女工哀史を超えた紡績女工』(玉川寛治) 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟千葉県本部 2019.6 p147-150

洗星海 ショウ・セイカイ〔1905—1945 中 作曲家〕
◎参考文献 『洗星海とその時代—中国で最初の交響曲作曲家』(平居高志) アルファベータブックス 2019.7 p325-337

鍾清漢 ショウ・セイカン
◎論文著作ほか 『わが友よ—鍾清漢先生追悼記念文集』(刊行委員会) アジア文化総合研究所出版会 2018.3 p258-301

鍾肇政 ショウ・チョウセイ〔1925—2020 台 小説家〕
◎年譜 『ゲーテ激情の書』(鍾肇政) 未知谷 2018.6 p133-135

諸葛孔明 ショカツ・コウメイ〔181—234 中 蜀漢の政治家〕
◎参考文献 『「三国志」の世界 孔明と仲達 新訂』(狩野直禎) 清水書院 2017.3 p247-249
◎参考文献 『劉備と諸葛亮—カネ勘定の『三国志』』(柿沼陽平) 文藝春秋 2018.5 p259-263

ジョハン・シラス〔インドネシア 建築家〕
◎論文 『スラバヤ—東南アジア都市の起源・形成・変容・転成—コスモスとしてのカンボン』(布野修司) 京都大学術出版会 2021.2 p559-561

辛格浩 シン・カクコウ
⇒“シン・キョッコ”を見よ

辛基秀 シン・キシュウ
⇒“シン・ギス”を見よ

辛基秀 シン・ギス〔1931—2002 韓 記録映画作家・朝鮮通信使研究者〕
◎参考引用文献 『辛基秀 朝鮮通信使に掛ける夢—世界記憶遺産への旅』(上野敏彦) 明石書店 2018.7 p370-380

辛格浩 シン・キョッコ〔日本名=重光武雄 1921—2020 韓 実業家〕
◎参考文献 『重光武雄論—ロッチを創った男』(松崎隆司) ダイアモンド社 2020.11 p397-396
◎参考文献 『ロッチ創業者重光武雄の経営—国境を越えたイノベーター』(柳町功) 日経BP日本経済新聞出版本部 2021.2 p257-251

申師任堂 シン・サイムダン〔1504—1551 朝鮮 書画家〕
◎参考文献 『師任堂のすべて—朝鮮時代に輝いた女性芸術家』(劉楨恩) キネマ旬報社 2017.8 p421-418

申師任堂 シン・シニンドウ
⇒“シン・サイムダン”を見よ

任正非 ジン・セイヒ〔1944— 中 実業家〕
◎参考文献 『ファーウェイ強さの秘密—任正非の経営哲学36の言葉』(鄧斌) 日本実業出版社 2021.2 p316-317

【ス】

鄒韜奮 スウ・トウフン〔1895—1944 台 教育者・ジャーナリスト〕
◎文献一覧 『近代中国における知識人・メディア・ナショナリズム—鄒韜奮と生活書店をめぐる』(楊翰) 汲古書院 2015.11 p289-312

【セ】

成俔 セイ・ケン
⇒“ソン・ヒョン”を見よ

西川 セイ・セン
⇒西川(シー・チュアン)を見よ

西太后 セイタイコウ〔1835—1908 中 清朝咸豊帝の側室〕
◎参考文献 『西太后秘録—近代中国の創始者 下』(J.チアン) 講談社 2015.2 p266-283

石汝杰 セキ・ジョケツ〔言語学〕
○论著目録 『熊本学園大学文学・言語学論集 24.2・25. 1.47・48』(熊本学園大) 2018.6 p5-18

世親 セシン〔印 中期仏教の大学者〕
◎参考文献 『「大乘五蘊論」を読む—色受想行識』(師茂樹) 春秋社 2015.9 p304-307
◎参考文献 『仏教実在論の研究—三世実有説論争 上』(秋本勝) 山喜房佛書林 2016.3 p339-342
◎参考文献ほか 『全訳グライ・ラマ1世 俱舎論註「解脱道解明」』(グライ・ラマ1世) 起心書房 2017.9 p595-600
◎参考文献 『婆藪槃豆伝—インド仏教思想家ヴァスバンドウの伝記』(船山徹) 法蔵館 2021.8 p229-238

セーニー・サオワボン〔1918—2014 タイ 外交官・作家〕
◎作品一覧 『時の一雫—セーニー・サオワボン選集』(S.セーニー) 大同生命国際文化基金 2016.12 p302-303

全在紋 ゼン・サイモン
⇒“チョン・ジュモン”を見よ

全民済 ゼン・ミンサイ
⇒“チョン・ミンジェ”を見よ

セン,A. Sen,Amartya Kumar〔1933— 印 経済学〕
◎参考文献ほか 『アマルティア・センの思想—政治的リアリズムからの批判的考察』(L.ハミルトン) みす

ず書房 2021.1 p5-20b

宣統帝 セントウテイ
⇒溥儀(フギ)を見よ

【ソ】

蘇軾 ソ・シヨク〔1036—1101 中 詩人・書家〕
◎参考文献 『蘇軾文学の継承と蘇氏一族—和陶詩を中心に』(原田愛) 中国書店 2015.2 p231-233

蘇童 ソ・ドウ〔1963— 中 作家〕
◎翻訳ほか 『歴史の周縁から—先鋒派作家格非、蘇童、余華の小説論』(森岡優紀) 東方書店 2016.11 p223-226

蘇東波 ソ・トウバ
⇒蘇軾(ソ・シヨク)を見よ

曹泳日 ソウ・エイニチ
⇒“ジョ・ヨンイル”を見よ

曾貴海 ソウ・キカイ〔1946— 台 詩人〕
◎年表 『曾貴海詩選』(曾貴海) 未知谷 2018.6 p201-204

曹禺 ソウ・グウ〔1910—1996 中 劇作家〕
○資料書籍文献目録(初稿)(瀬戸宏) 『撰大人文学 28』(撰南大) 2021.1 p75-83

曾国藩 ソウ・コクハン〔1811—1872 中 清代の軍人・政治家〕
◎参考文献 『中国近代の巨人とその著作—曾国藩、蔣介石、毛沢東』(京都大) 研文出版 2019.1 prr
◎参考文献 『曾国藩—天を畏れ勤・儉・清を全うした官僚』(清水稔) 山川出版社 2021.2 2pb

則天武后 ソクテンプコウ〔690—705 中 武周朝皇帝〕
◎評伝ほか 『則天武后』(氣賀澤保規) 講談社 2016.11 p334-335

孫基禎 ソン・ギジョン〔1912—2002 韓 マラソン選手〕
◎参考文献 『孫基禎—帝国日本の朝鮮人メダリスト』(金誠) 中央公論新社 2020.7 p204-208

孫基禎 ソン・キテイ
⇒“ソン・ギジョン”を見よ

成俔 ソン・ヒョン〔1439—1504 朝 李朝初期の学者〕
◎参考文献 『「慵齋叢話」—15世紀朝鮮奇譚の世界』(野崎充彦) 集英社 2020.6 p234-238

孫文 ソン・ブン〔1866—1925 中 政治家・思想家〕
◎略年譜 『孫文—近代化の岐路』(深町英夫) 岩波書店 2016.7 p7-9b

○研究目録(孫文記念館) 『孫文研究—会報 64』(孫文研究会) 2019.9 p45-70
○研究目録(孫文記念館) 『孫文研究—会報 66』(孫文研究会) 2020.6 p45-64
○研究目録(孫文記念館) 『孫文研究—会報 69』(孫文研究会) 2021.12 p62-75

孫猛 ソン・モウ
○業績ほか 『人文論集 53』(早稲田大) 2015.2 p294-290

孫子 ソンシ〔前535頃—? 中 春秋時代の武将・軍事思想家〕
◎参照事項ほか 『孫子とクラウゼヴィッツ—米陸軍戦略大学校テキスト』(M.I.ハンデル) 日本経済新聞出版社 2017.9 p265-275
◎参考文献 『吉田松陰「孫子評註」を読む—日本「兵学研究」の集大成』(森田吉彦) PHP研究所 2018.12 p391-393

【タ】

タゴール,R. Tagore,Rabindranāth〔1861—1941 印 詩人・哲学・劇作家・作曲家〕
◎参考文献 『原典でよむタゴール』(R.タゴール) 岩波書店 2015.5 p277-280
◎引用参考文献 『新たな地球文明の詩を—タゴールと世界市民を語る』(B.ムカジーほか) 第三文明社 2016.10 p384-391

ダバシ,H. Dabashi,Hamid〔1951— イラン 思想家〕
◎著作 『ポスト・オリエンタリズム—テロの時代における知と権力』(H.ダバシ) 作品社 2018.1 p343-344

ダライ・ラマ Dalai Lama〔チベット仏教〕
◎参考文献 『ダライ・ラマと転生—チベットの「生まれ変わり」の謎を解く』(石濱裕美子) 扶桑社 2016.9 p213-214

湛然 タンゼン〔中 唐代の僧侶(天台宗)〕
◎文献目録 『唐代天台法華思想の研究—荆溪湛然における天台法華経疏の注釈をめぐる諸問題』(松森秀幸) 法蔵館 2016.3 p503-512

【チ】

崔承喜 チェ・スンヒ〔1911—1969 北朝鮮 舞踏家〕
◎参考文献目録 『「東洋」を踊る崔承喜』(李賢峻) 勉誠出版 2019.2 p339-373

- 作家・版画家)
 ◎参考文献 『アンニ・アルバースとアンデスの染織—バウハウスからブラック・マウンテンへ』(V.G.トロイ) 桑沢学園 2015.12 p199-204
 ◎参考文献 『デザインについて—バウハウスから生まれたものづくり』(A.アルバース) 白水社 2016.1 p157]

- アルバレス・ブラボ,M. Álvarez Bravo,Manuel [1902—2002 メキシコ 写真家]
 ◎文献 『マヌエル・アルバレス・ブラボ—メキシコ、静かなる光と時』(M.アルバレス・ブラボ) クレヴィス 2016.7 p243-245

- アルフォンソ10世 Alfonso X [1221—1284 カスティーリャ王国 国王]
 ◎参考文献 『聖母マリアのカンティエーガー—中世イベリアの信仰と芸術』(菊地章太) サンパウロ 2020.1 p1-8b

- アルベルトウス,M. Albertus,Magnus,Saint,Bp.of Ratisbon [1193—1280 独 神学・哲学]
 ◎文献一覧 『アルベルトウス・マグヌスの人間知性論—知性単一説をめぐって』(小林剛) 知泉書館 2016.7 p87-92b

- アレキサンダー大王
 ⇒アレクサンドロス3世を見よ

- アレグザンダー,C. Alexander,Christopher [1936—2022 奥 建築家・都市計画家]
 ◎引用参考文献 『クリストファー・アレグザンダーの思考の軌跡—デザイン行為の意味を問う』(長坂一郎) 彰国社 2015.7 p1-3b

- アレクサンダー,J.C. Alexander,Jeffrey.C. [1947— 米 社会学]
 ◎文献 『市民社会の文化社会学—アレクサンダー—市民圏論の検討を中心に』(兼子論) 晃洋書房 2021.3 p201-220

- アレクサンダー,T.T. Alexander,Thomas Theron [1850—1902 米 宣教師]
 ◎参考文献 『わたしの家族の明治日本』(J.シェルトン) 文藝春秋 2018.10 p282-284

- アレクサンドロス3世 Alexandros III [前356—323 マケドニア王]
 ◎参考文献 『アレクサンドロスの征服と神話』(森谷公俊) 講談社 2016.2 p364-359
 ◎参考文献 『新訳アレクサンドロス大王伝—『プルタルコス英雄伝』より』(プルタルコス) 河出書房新社 2017.6 p497-474
 ◎参考文献 『アレクサンドロス大王東征路の謎を解く』(森谷公俊) 河出書房新社 2017.11 p361-358
 ◎参考文献 『アレクサンドロス大王』(H.ボーデン) 刀水書房 2019.6 p201-197 (16-20b)
 ◎テキストほか(橋本隆夫) 『アレクサンドロス大王物語』(伝カリストネス) 筑摩書房 2020.8 p477-480
 ◎参考文献 『アレクサンドロス大王』(澤田典子) 筑摩書房 2020.11 p231-235

- アレクシアス1世 Alexios I [1048—1118 東ローマ帝国 皇帝]
 ◎史料参考文献 『アレクシアス』(A.コムニニ) 悠書館 2019.12 p113-117b

- アレクシエーヴィチ,S. Alexievich,Svetlana [1948— ベラルーシ 作家・ジャーナリスト]
 ◎引用文献ほか 『アレクシエーヴィチとの対話—「小さな人々」の声を求めて』(S.アレクシエーヴィチ) 岩波書店 2021.6 p364-366

- アレン,K.O. Allen,Kathleen.O. [米 教育学]
 ○PUBLICATIONS 「明治大学国際日本学研究 11.1」(明治大) 2019.3 p55-58

- アレン,W. Allen,Woody [1935— 米 映画監督]
 ◎参考文献 『ウディ・アレン完全ヴィジュアルガイド』(J.ベイリー) スペースシャワーネットワーク 2017.4 p192-193
 ◎参考文献一覧 『ウディ』(D.エヴァニアー) キネマ旬報社 2017.5 p506-508

- アーレント,H. Arendt,Hannah [1906—1975 米 政治哲学]
 ◎著作 『ハンナ・アーレント—共通世界と他者』(中島道男) 東信堂 2015.1 p218-219
 ◎ブックガイド 『ハンナ・アーレント「革命について」入門講義』(仲正昌樹) 作品社 2016.11 p373-378
 ◎著作 『なぜアーレントが重要なのか 新装』(E.ヤング=ブルーエル) みすず書房 2017.5 p243-245
 ◎文献一覧 『アーレント最後の言葉』(小森謙一郎) 講談社 2017.7 p232-248
 ◎著作 『〈政治〉の危機とアーレント—「人間の条件」と全体主義の時代』(佐藤和夫) 大月書店 2017.8 p15-17
 ◎参考文献 『公共的なもの—アーレントと戦後日本』(権安理) 作品社 2018.2 p318-300
 ◎参考文献 『アーレントのマルクス—労働と全体主義』(百木漠) 人文書院 2018.2 p338-327
 ◎参考文献 『ハンナ・アーレント—屹立する思考の全貌』(森分大輔) 筑摩書房 2019.6 p277-282
 ◎参考文献 『アーレント=ショーレム往復書簡』(H.アーレントほか) 岩波書店 2019.11 p13-26b
 ◎参考文献 『ハンナ・アーレント再論—あるべき政治>を求めて』(寺島俊穂) 萌書房 2019.12 p185-195
 ◎参考文献 (小森(井上)達郎) 『いま読み直したい思想家9人』(布施元ほか) 梓出版社 2020.5 p177-179
 ◎引用参考文献 『活動の奇跡—アーレント政治理論と哲学カフェ』(三浦隆宏) 法政大出版局 2020.6 p348-335
 ◎参考文献 『漂泊のアーレント 戦場のヨナス—ふたりの20世紀 ふたつの旅路』(戸谷洋志ほか) 慶應義塾大出版会 2020.7 p352-347
 ◎文献一覧 『教育のリーダーシップとハンナ・アーレント』(H.M.ガンター) 春風社 2020.12 p9-30b
 ◎著作一覧 『ハンナ・アーレント—〈世界への愛〉の物語』(E.ヤング=ブルーエル) みすず書房 2021.3 p22-39b
 ◎参考文献 『嘘と政治—ポスト真実とアーレントの思

- 想』(百木漠) 青土社 2021.4 p251-258

- アロー,K. Arrow,Kenneth Joseph [1921— 米 経済学]
 ◎参考文献 『社会的合意と時間—「アローの定理」の哲学的含意』(齊藤尚) 木鐸社 2017.3 p288-303

- アンセルムス Anselmus Cantuariensis [1033—1109 英 スコラ神学]
 ◎参考文献ほか 『カンタベリーのアンセルムス—風景の中の肖像』(R.W.サザーン) 知泉書館 2015.3 p63-74b

- アンダーソン,P.T. Anderson,Paul Thomas [1970— 米 映画監督]
 ◎参考文献 『ポール・トーマス・アンダーソン—ザ・マスターワークス』(A.ネイマン) DU BOOKS 2021.10 p284-287

- アンチエル,K. Ančerl,Karel [1908—1973 チェコ 指揮者]
 ◎参考文献 『カレル・アンチエル—悲運に生きたマエストロ』(高橋綾) アルファベータブックス 2018.12 p141-147

- アンデルセン,H.C. Andersen,Hans Christian [1805—1875 デンマーク 児童文学]
 ◎年譜ほか 『アンデルセン 新装』(安達忠夫) 清水書院 2016.3 p168-187
 ◎参考文献 『〈児童文学ファンタジー〉の星図—アンデルセンと宮沢賢治』(大澤千恵子) 東京学芸大出版会 2019.1 p241-253

- アントニウス,M. Antonius,Marcus [前82頃—前30 ローマ 軍人・政治家]
 ◎参考文献 『アントニウスとクレオパトラ 下』(A.ゴールズワージー) 白水社 2016.7 p48-55b

- アンドリッチ,I. Andrić,Ivo [1892—1975 ユーゴスラビア 作家]
 ◎参考文献(山崎佳代子) 『イェレナ、いない女—他13篇』(I.アンドリッチ) 幻戯書房 2020.11 p445-448

- アンドレ,J. André,Jacques [1947— 仏 精神分析家]
 ◎著書 『100語でわかる子ども』(J.アンドレ) 白水社 2017.10 p189-190

- アンドレーアス=ザロメ,L. Andreas-Salomé,Lou [1861—1937 独 エッセイスト]
 ◎著者参考文献ほか 『ルー・アンドレーアス=ザロメ—自分を駆け抜けていった女』(S.リンデ) アルク出版企画 2015.4 p225-236

- アンナ・コムネナ Anna Comnena [1083—1148以降 東ローマ帝国 歴史家]
 ◎参考文献抄 『歴史学の慰め—アンナ・コムネナの生涯と作品』(井上浩一) 白水社 2020.7 p1-5b

【イ】

- イエイツ,W.B. Yeats,William Butler [1865—1939 アイルランド 詩人・劇作家]
 ◎年譜 『ジョン・チャーマンとサーカスの動物たち』(W.B.イエイツ) 平凡社 2016.10 p260-273
 ◎参考文献 『イエイツ・コード—詩魂の源流/面影の技法』(木原誠) 小鳥遊書房 2019.1 p543-550
 ◎参考文献 『祖国と詩—W・B・イエイツ—1865-1939』(杉山寿美子) 国書刊行会 2019.8 p538-532

- イエス Iesus [前7頃—後30頃 パレスチナ キリスト 教の始祖]
 ◎参考文献 『イエス』(C.ペロ) 白水社 2015.5 p7-8b
 ◎参考文献 『史的イエスをめぐる謎—豊かな混沌』(波多野直人) 彩流社 2015.5 p308-314
 ◎参考文献 『これこそ聖骸布—コンプリ神父がその真相を語る』(G.コンプリ) ドン・ボスコ社 2015.5 p101-103
 ◎文献表 『信じない人のためのイエス入門—宗教を超えて』(J.S.スポング) 新教出版社 2015.11 p366-379
 ◎引用参考文献 『イエス伝』(若松英輔) 中央公論新社 2015.12 p275-277
 ◎参考文献 『クリスマスの原像 福音書の降誕物語を読む』(嶺重淑) かんよう出版 2017.11 p149-150
 ◎参考文献 『受肉の哲学—原初の出会いの経験から、その根拠へ』(谷隆一郎) 知泉書館 2019.10 p215-218

- イエーリング,R.v. Jhering,Rudolf von [1818—1892 独 法学]
 ◎引用文献表 『イエーリングの「転向」』(大塚滋) 成文堂 2016.8 p223-229

- イシクロ,K. Ishiguro,Kazuo Sir [1954— 英 小説家]
 ◎書誌 『カズオ・イシグロ—境界のない世界』(平井杏子) 水声社 2017.10 p239-257
 ◎書誌(武井博美) 『カズオ・イシグロの世界』(小池昌代ほか) 水声社 2017.12 p183-216
 ◎参考文献リスト 『カズオ・イシグロ読本—その深淵を暴く』(別冊宝島編集部) 宝島社 2017.12 p166-167
 ◎参考文献一覧 『カズオ・イシグロ入門』(日吉信貴) 立東舎 2017.12 p180-187
 ◎参考文献 『カズオ・イシグロの長崎』(平井杏子) 長崎文献社 2018.3 p138-139
 ◎年譜ほか 『カズオ・イシグロの視線—記憶・想像・郷愁』(荘中孝之ほか) 作品社 2018.7 p329-337
 ◎文献案内(三村尚央) 『カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』を読む—ケアからホロコーストまで』(田尻芳樹ほか) 水声社 2018.9 p297-304
 ◎参考文献 『カズオ・イシグロに恋して』(臼井雅美) 英宝社 2019.5 p317-333
 ◎引用文献 『カズオ・イシグロと日本—幽霊から戦争責任まで』(田尻芳樹ほか) 水声社 2020.10 prr

【 A 】

Aalto, Alvar → アアルト, A.
 Abdallah-Preteceille, Martine → アブダラ=ブレッツェイユ, M.
 Abegglen, James Christian → アベグレン, J.C.
 AC/DC → AC/DC
 Achmátova, Anna Andrijivna Achmátova → アフマートヴァ, A.A.
 Adams, Henry → アダムズ, H.
 Adams, John Quincy → アダムズ, J.Q.
 Adams, William → アダムズ, W.
 Adler, Alfred → アドラー, A.
 Adorno, Gretel → アドルノ, G.
 Adorno, Theodor Wiesengrund → アドルノ, T.W.
 Aelianus → アイリアノス
 Agamben, Giorgio → アガンベン, G.
 Akoto-Bamfo, Kwame → アコト, K.
 Al Thani, H.b.A. → 《東》アル・サーニ, H.b.A.
 Alain → アラン
 Albers, Anni → アルバース, A.
 Albertus, Magnus, Saint, Bp. of Ratisbon → アルベルトゥス, M.
 Alcott, Amos Bronson → オルコット, A.B.
 Alcott, Louisa May → オルコット, L.M.
 Alexander, Christopher → アレクザンダー, C.
 Alexander, Jeffrey C. → アレクサンダー, J.C.
 Alexander, Thomas Theron → アレクサンダー, T.T.
 Alexandros III → アレクサンドロス3世
 Alexievich, Svetlana → アレクシエーヴィチ, S.
 Alexios I → アレクシアス1世
 Alfonso X → アルフォンソ
 Alinsky, Saul David → アリンスキー, S.D.
 Allen, Kathleen O. → アレン, K.O.
 Allen, Woody → アレン, W.
 Alliluyeva, Svetlana → アリルーエワ, S.
 Althusser, Louis → アルチュセール, L.
 Altman, Rebecca Bridges → アルトマン, R.
 Álvarez Bravo, Manuel → アルバレス・ブラボ, M.
 Amati, Scipione → アマーティ, S.
 Ambedkar, Bhimrao Ramji → 《東》アンベードカル, B.R.
 Amundsen, Roald → アムンセン, R.
 Ančeri, Karel → アンチェル, K.
 Andersen, Hans Christian → アンデルセン, H.C.
 Anderson, Paul Thomas → アンダーソン, P.T.
 André, Jacques → アンドレ, J.
 Andreas-Salomé, Lou → アンドレーアス=ザロメ, L.
 Andrić, Ivo → アンドリッチ, I.
 Anna Comnena → アンナ・コムネナ
 Anselmus Cantuariensis → アンセルムス
 Antonius, Marcus → アントニウス, M.
 Apress, William → エイプス, W.

Apollinaire, Guillaume → アポリネール, G.
 Aragon, Louis → アラゴン, L.
 Archimédès → アルキメデス
 Ardizzone, Edward → アーディゾーニ, E.
 Arendt, Hannah → アーレント, H.
 Aristotèlès → アリストテレス
 Armstrong, Neil Alden → アームストロング, N.
 Arrow, Kenneth Joseph → アロー, K.
 Arsinoë II → アルシノエ2世
 Arup, Ove → アラップ, O.
 Aschoff, Jürgen Walther Ludwig → アシヨフ, J.
 Atanasoff, John Vincent → アタナソフ, J.V.
 Atget, Jean-Eugène → アジェ, E.
 Athanasios → アタナシオス
 Atwood, Margaret → アトウッド, M.
 Augustinus, Aurelius Saint, Bp. of Hippo → アウグスティヌス, A.
 Augustus, Gaius Octavius → アウグストゥス
 Austen, Jane → オースティン, J.
 Auster, Paul → オースター, P.
 Autié, Léonard → オーティエ, L.
 Azaña y Díaz, Manuel → アサーニャ, M.

【 B 】

Bálazs, Béla → バラージュ, B.
 Böhme, Jakob → ベーメ, J.
 Babeuf, Gracchus → バブーフ, G.
 Bach, Johann Sebastian → バッハ, J.S.
 Bachmann, Ingeborg → バッハマン, I.
 Bacon, Francis → ベーコン, F.
 Baker, Nicholson → ベイカー, N.
 Baker, Richard A. → ベイカー, R.
 Bakhtin, Mikhail Mikhailovich → バフチン, M.M.
 Balint, Michael → バリント, M.
 Ballagh, James Hamilton → バラ, J.H.
 Balzac, Honoré de → バルザック, H.
 Banksy → バンクシー
 Banting, Frederick Grant → バンティング, F.G.
 Barbeyrac, Jean → バルベラック, J.
 Barceló Artigues, Miquel → バルセロ, M.
 Baring-Gould, Edith → ベアリング=グールド, E.
 Barnard, Chester Irving → バーナード, C.I.
 Barrie, James Matthew → バリー, J.M.
 Bartók, Béla → バルトーク, B.
 Barth, Karl → バルト, K.
 Barthes, Roland → バルト, R.
 Basaglia, Franco → バザーリア, F.
 Basquiat, Jean-Michel → バスキア, J.M.
 Bataille, Georges → バタイユ, G.
 Batchelor, John → バチラー, J.
 Baudelaire, Charles Pierre → ボードレール, C.P.
 Baudot, Anatole de → ボドー, A.d.

編者略歴

有木 太一 (ありき・ふとし)

1968年生。早稲田大学第二文学部卒。深井人詩氏に師事して、在野の書誌研究者となる。2016年版から中西裕氏のもと『書誌年鑑』の編集に加わり、中西氏勇退後の2018年版から編集を引き継いだ。「最近の書誌図書関係文献」(日外アソシエーツHP) 毎月連載。

中西 裕 (なかにし・ゆたか)

1950年生。早稲田大学第一文学部卒。元昭和女子大学教授・元早稲田大学図書館司書。日本図書館文化史研究会・日本シャーロック・ホームズ・クラブ各会員。図書館情報学の中でもレファレンス・サービスの基礎となる「書誌の書誌」の作成および図書館史を中心に研究。編著書に『書誌年鑑』『日本雑誌総目次要覧』、論文等に「天野敬太郎の書誌観」「ホームズ物語言及作曲家から見るドイルの宗教観」など。

人物書誌索引 2015-2021

2023年3月25日 第1刷発行

編 集 / 有木太一・中西 裕

発 行 者 / 山下 浩

発 行 / 日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理 / 日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本 / シナノ印刷株式会社

© ARIKI Futoshi, NAKANISHI Yutaka 2023

不許複製・禁無断転載 (中性紙北越淡クリームラフ書籍使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-2956-4 Printed in Japan, 2023

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。